

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公表番号】特表2007-518596(P2007-518596A)

【公表日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-026

【出願番号】特願2006-547058(P2006-547058)

【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/382 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/42 (2006.01)**

**B 4 1 J 31/00 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/26 1 0 1 F

B 4 1 J 31/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

色素供与層と、支持体と、高分子材料および少なくとも1種の無機粒子を含む高分子層とを含む感熱印刷用リボンを形成すること、

色素受容層と支持体とを含む受容体を形成すること、

前記感熱印刷用リボンの色素供与層を前記受容体の色素受容層に近接して置くこと、そして

画像を前記受容体上に印刷すること、

を含んで成る感熱印刷方法であって、

印刷時に前記リボンが実質的に皺を有しないままである  
感熱印刷方法。

【請求項2】

色素供与層と、高分子材料および少なくとも1種のナノサイズの無機粒子を含むナノコ  
ンポジット支持体とを含む感熱印刷用リボンを形成すること、

色素受容層と支持体とを含む受容体を形成すること、

前記感熱印刷用リボンの色素供与層を前記受容体の色素受容層に近接して置くこと、そして

画像を前記受容体上に印刷すること、

を含んで成る感熱印刷方法であって、

印刷時に前記リボンが実質的に皺を有しないままである  
感熱印刷方法。

【請求項3】

色素供与層と、支持体と、高分子材料および少なくとも1種の無機粒子とを含む高分子  
層とを含む感熱印刷用リボンを形成すること、

色素受容層と支持体とを含む受容体を形成すること、

前記感熱印刷用リボンの色素供与層を前記受容体の色素受容層に近接して置くこと、そして

画像を前記受容体上に印刷することと  
を含んで成る印刷時の皺を低減する方法であつて、  
皺の発生が 9.5 % 以上低減される方法。